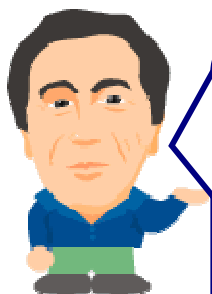


はしもと通信 No.15・16



毎度 おおきに！橋本塗装店です。
 今年も残すところ後1ヶ月を切りましたね。
 年末に向けてこれから大掃除の季節がやってきます。
 今回は、『簡単お手入れの仕方』第2弾！という事で《サッシや網戸》
 のお掃除の仕方をご紹介します。
 是非、お試しください。

簡単お手入れの仕方 (サッシ・シャッター雨戸・網戸)



普段のサッシ掃除は、から拭きかお湯拭き程度で十分。落ちにくい汚れは洗剤を使い、水分をしっかりと絞った雑巾で拭きます。汚れを落とした後は、よくから拭きしておきましょう。また、サッシから音鳴りが発生したらレール内面と上框にシリコンスプレーを吹きつけてください。

シャッター雨戸はお湯で薄めた中性洗剤で汚れをおとします。その際、硬いブラシなどは使わないでください。とくにカラー鉄板雨戸の場合は塗膜をはがし、サビの原因になります。もし、傷がついてしまったら、クリアラッカーを塗って保護してください。

網戸が破れた時の応急処置は、セロハンテープで穴をふさぐか、小さく切った網を瞬間接着剤で貼りつけければOK。大きな破れは、新しい網に貼り替えるようにしてください。



サッシの溝は筆先を湿らせてお手入れ。



『サッシの溝を掃除するには』

風の強い春先などは、サッシの溝にもホコリが溜まりやすくなりますが、どうも雑巾では掃除しにくいもの。そこで、雑巾の代わりに使い古しの筆を利用してみましょう。水をつけながらホコリを寄せると、湿った筆先が汚れを全て吸い取ってくれるので、とってもきれいに掃除できます。



『アルミサッシに黒い染みが浮いてきたら』

アルミサッシは長期間使っているうちに、ポツポツと黒い染みが浮いてくることがあります。この染みは“ピット”といって、アルミ素材に現れるサビ。これは目の細かいサンドペーパーで軽くこするときれいに落ちます。その後、サッシにカーワックスを塗っておけば、汚れやサビの予防にもなります



サンドペーパーで軽くこすり、仕上げはカーワックスで。



柔軟仕上剤で窓もピッカピカ!!



『ちょっと変わった窓拭き剤』

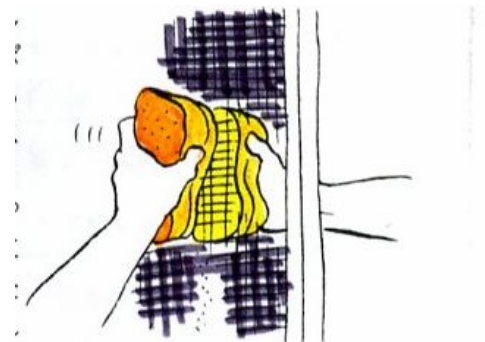
窓ガラスがなぜ汚れやすいか、ご存知ですか。これはガラスが帯電しやすい性質をもっているからなのです。そこで窓拭きの際に使用したいのが衣類用の柔軟仕上剤。柔軟仕上剤に含まれる陽イオン活性剤の働きが、繊維はもちろんガラスの帯電もしっかり防止するので。また柔軟仕上剤以外では、お酢を使っても同様のリンス効果が得られます。是非、一度お試しあれ。



『網戸の上手な掃除方法』

網戸の目に貼りついたホコリは、濡れ雑巾で拭くとかえって汚れを広げてしまい、また強く拭くと網が緩んでしまうこともあります。では、どうするか。

乾いたスポンジを2個用意してください。はじめにスポンジの一つを網の裏側から押さえ、つぎにもう片方のスポンジで表からたたきようにします。つまり、汚れやホコリの挟み撃ち。裏にあてたスポンジに汚れがたたき出されて、簡単にきれいになります。



網戸の汚れはスポンジではさみ撃ち!!



今年も一年間ありがとうございました。

皆様、健康に気をつけて 良いお年をお迎え下さいませ。

来年もまた皆様にお役に立てる情報を提供出来るよう頑張ってますので、どうぞ『はしもと通信』を宜しくお願いいたします。



建築・家具・塗装一般・防水工事・リフォーム

株式会社 橋本塗装店

〒612-8485 京都市伏見区羽東師志水町 165-125

TEL:075-921-7735 FAX:075-921-5198

E-mail:pnk-7735@poem.ocn.ne.jp

HP:<http://www.hashimoto-tosou.com/>